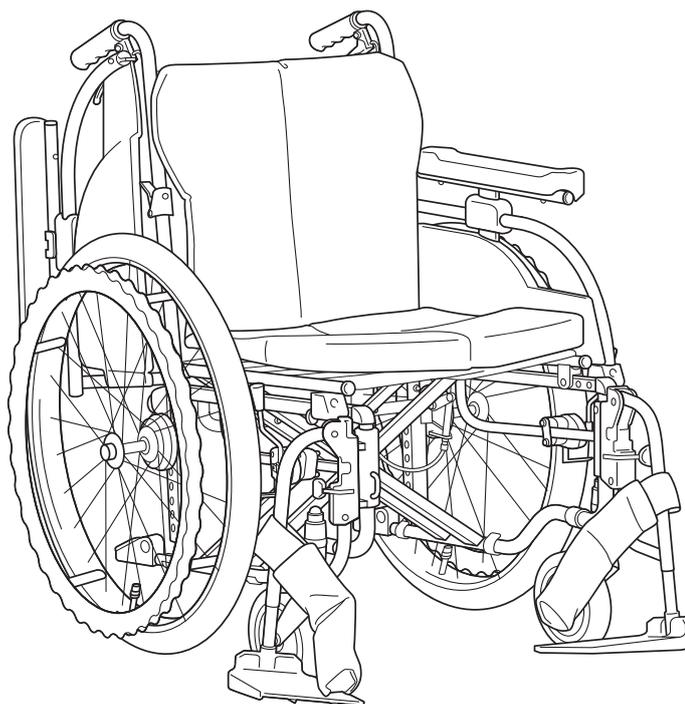


## 取扱説明書

# 車いす KK-T56シリーズ

保証書付

7F11769700A1



### まえがき

このたびは、車いすKK-T56シリーズ(以下、車いす)をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、車いすを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- 車いすをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。(バックサポート後のポケットに入れておいてください)
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除き、この「取扱説明書」では表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接パラマウントベッドまでお問い合わせください。

**販売元：パラマウントベッド株式会社**  
**製造元：株式会社松永製作所**

車いすが、身体に合わない状態で乗らないでください。健康をそこなう恐れがあります。  
そのような場合は、購入されたお店または、かかりつけの病院にご相談ください。

- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または、直接弊社までお問い合わせください。

## 付属品



取扱説明書

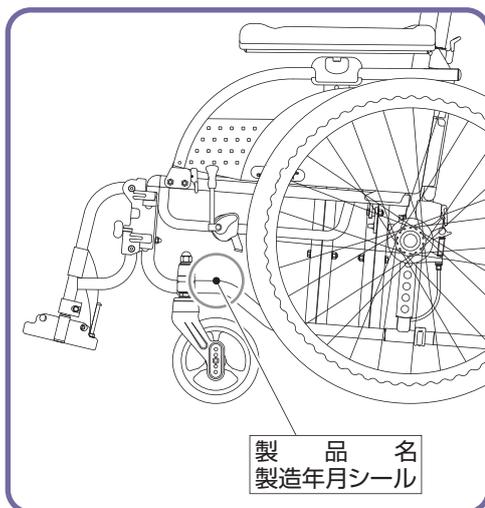


スパナ

## ご使用前に

出荷時には検査をしておりますが、ご使用前に次のご確認をお願いいたします。

- 箱が破損したり、濡れたりしていないか。
  - 各部の破損・キズ、フレームのゆがみ、ボルト・ナットや部品の脱落はないか。
  - 付属品はすべて揃っているか。
  - タイヤの空気圧は適正か。(タイヤを指で押さえ確認してください。)(P.16 参照)
- もし異常があればご使用にならず、すぐにお買い求めの販売店または、弊社までご連絡ください。**



製品名  
製造年月シール

購入された製品の機種名をご確認ください。  
機種名は、下記位置に表示してあります。

# 目次

<b>安全にお使いになるためのご注意</b> .....	2
<b>機種別寸法一覧</b> .....	4
<b>各部の名称</b> .....	4
<b>機能説明</b> .....	5
<b>車いすの広げ方・折りたたみ方</b> .....	6
車いすの広げ方 .....	6
車いすの折りたたみ方 .....	7
<b>安全にお使いになるための使用方法</b> .....	8
ブレーキの使用方法 .....	8
フットサポートの高さ調整 .....	9
フット・レッグサポートスイングアウト .....	9
アームサポート跳ね上げ&着脱 .....	10
<b>車いすの使用方法</b> .....	12
乗り方・降り方 .....	12
動かし方 .....	13
介助の仕方 .....	14
外出時の注意 .....	15
ご使用の前に .....	16
<b>もしこんなトラブルが発生したときは</b> .....	18
<b>車いすのお手入れの方法</b> .....	18
<b>車いす点検シート</b> .....	19
アフターサービスについて .....	20
保証書	

# 安全にお使いになるためのご注意



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性があることおよび物的損害の発生する可能性が想定されることを示しています。

### お守りいただく内容の説明



この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



この表示は、必ずしていただく「**強制**」内容です。



## 警告

(禁止)



しては  
いけない

■故障、異常のあるときは、直ちに使用を中止してください。  
事故、転倒などによるケガの原因となります。

■改造しないでください。

改造によって車いすの部品の破損、脱落などで安全性が低下して事故、転倒の原因となります。

■バックサポート折りたたみのロックレバーに、かばんなどを引っ掛けないでください。  
ロックが解除され、転倒・転落事故の原因となります。

■タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。  
ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動いて、事故の原因となります。

■フットサポートの上に乗って、乗り込んだり、降りるとき上に立ち上がらないでください。  
車いすがバランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります。

■車いすのシートの上で立ち上がらないでください。  
転倒・転落事故の原因となります。

(強制)



必ずして  
いただく

■道路の通行は、必ず右側を通行してください。(歩道がある場合は歩道を通行してください。)  
道路交通法規を守らないと、交通事故の原因となります。

■坂道の登り下りは、介助者の方に支えていただいで行ってください。  
スピードが出たり、バランスが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。

■バックサポート折りたたみのロックピンが、「カチッ」と音が鳴り、  
完全に出ていることを確認してください。  
急にバックサポートが倒れ、転倒・転落事故の原因となります。

■車いすに乗る・降りる前や、ベッドへの移乗時には、必ず駐車用ブレーキをロックしてください。  
車いすが動き、転倒・転落事故の原因となります。

■側溝の格子蓋や踏切などでご使用される場合は、必ず介助者の方に支えていただいで行ってください。  
車輪が溝にはまって転倒・転落事故の原因となります。

■フットサポートが固定されているか、確認してから使用してください。  
フットサポートが脱落し事故の原因となります。

■フットサポートの高さは地面より5cm以上でご使用ください。  
路面の凹凸や障害物にフットサポートが引っかかり急に車いすが止まり、転倒・転落事故の原因となります。

■スイングアウトを戻したときは、ロックが確実にされているか確認してください。  
足を乗せたとき、外れて足をケガする原因となります。

■アームサポート跳ね上げを戻したときは、ロックレバーのピンが  
完全にロックされていることを確認してください。  
転倒・転落事故の原因となります。

■アームサポートを取りつけたときは、完全にロックしていることを確認してください。  
転倒・転落事故の原因となります。

## ⚠ 注意

### (禁止)



しては  
いけない

- バックサポートに重いものを引っ掛けないでください。  
車いすが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。
- 車いすを拡げる時に、シートパイプの横や下に、手や指を入れないでください。  
パイプに手や指を挟んでケガをする原因となります。
- 急ブレーキをかけないでください。  
車いすに乗っている方が前方へ転倒・転落する恐れがあります。
- アームサポートを持って、車いすを持ち上げないでください。  
ケガ、転倒・転落事故の原因となり大変危険です。
- タイヤを持って車いすを操作しないでください。  
ブレーキに手があたり、ケガをする原因となります。
- スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。  
摩擦で、手にケガをする恐れがあります。
- 走行中、身体を乗り出さないでください。  
バランスが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。
- 車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。  
手や指を挟んで、ケガをする原因となります。
- バックサポートパイプのみで、キャスト（前輪）を上げないでください。  
バックサポートパイプが曲がったり、折れたりして、転倒して事故の原因となります。
- スピードをつけて、段差を乗り越えようとししないでください。  
使用者が車いすから転倒・転落して事故の原因となります。
- 使用者が車いすに乗っている状態でグリップを持って吊り上げないでください。  
パイプが外れたりして、転倒・転落事故の原因となります。
- バックしながら、急停止しないでください。  
転倒・転落事故の原因となります。
- 凹凸のある路面では、前かがみ姿勢で使用しないでください。  
バランスを崩し、前に転倒・転落して事故の原因となります。
- 火気の近くに置かないでください。  
タイヤがパンクしたり、シートが燃え火災の原因となります。

### (強制)



必ずして  
いただく

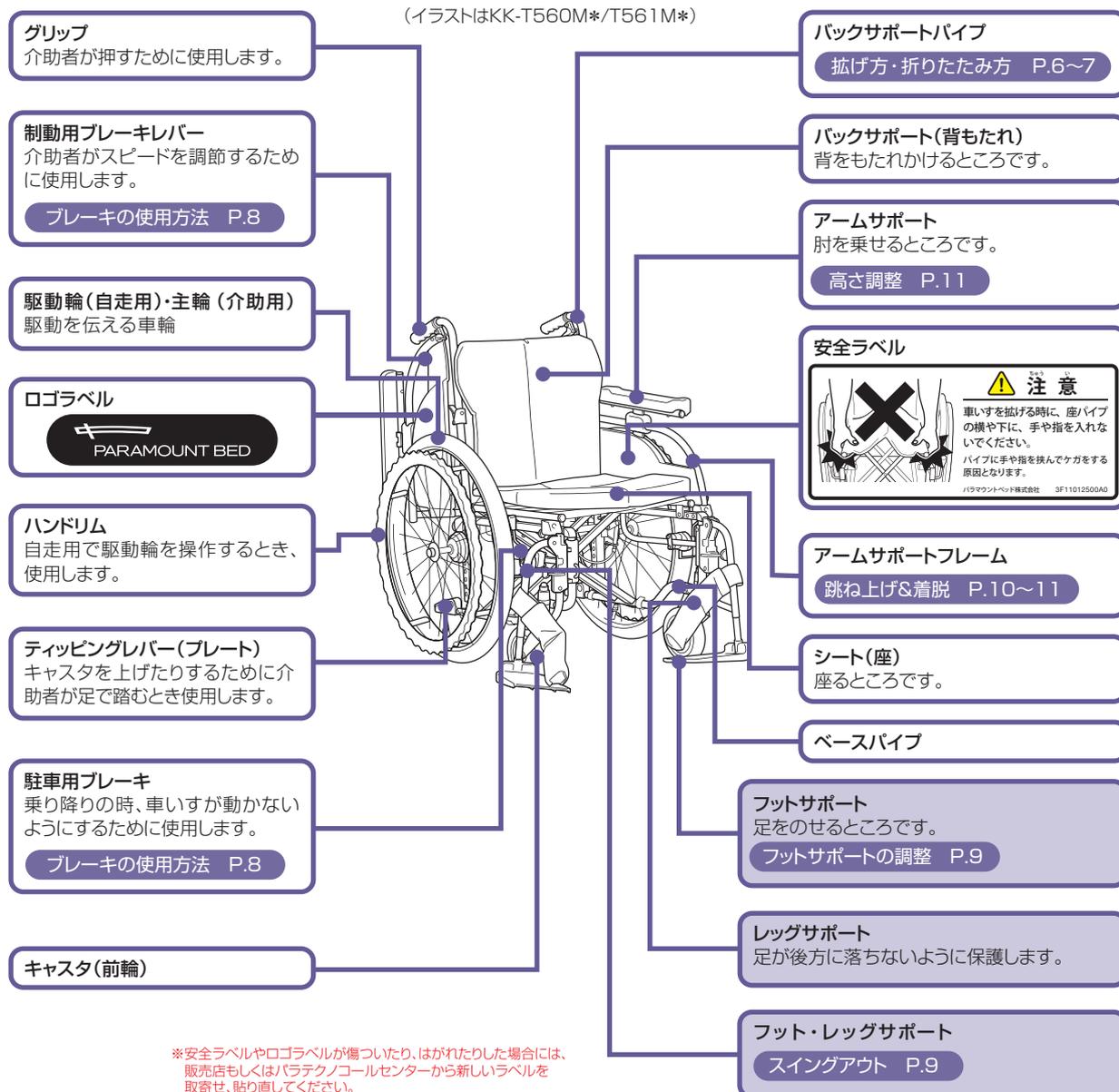
- 車いすを拡げた時、シートパイプが受けに収まっているか、確認してから座ってください。  
パイプが曲がったりして、転倒・転落事故及び故障の原因となります。
- 背シート・座シートクッションのマジックテープは確実に固定してください。  
固定していないと、シートがずれて、転倒・転落事故の原因となります。
- マジックテープに付いた、糸くずや汚れを取り除いてください。  
粘着力が弱くなり、衝撃を受けた時外れ、転倒・転落事故の原因となります。
- 介助者の方は、制動用ブレーキレバーを両側同時にかけてください。  
バランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります。
- 車いすの乗り降りは、路面の平坦な場所で行ってください。  
車いすが動いてバランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります。
- 坂道を下るとき介助者の方は、下り坂の下側に立ち、ゆっくり確認しながら後ろ向きに走行してください。  
前向きで下ると、乗っている人がずり落ちたり、前のめりとなり、転倒・転落事故の原因となります。
- 側溝の格子蓋、踏切のレール溝にキャストが落ち込まないように注意してください。  
車いすが急に止まり使用者の体が前方に傾き、転落・転倒事故の原因となります。
- マジックベルト装着機種は、必ずマジックベルトを締めてください。  
衝撃などで転落し事故の原因となります。

# 機種別寸法一覧

機種	キャスト (呼び)	大車輪 (呼び)	前座高 (mm)	後座高 (mm)	シート幅 (mm)	シート奥行 (mm)	アームサポート高 (mm)	バックサポート高 (mm)	フット長 <sup>※1</sup> (mm)	全長 (mm)	全幅 (mm)	折畳み幅 (mm)	重量 (kg)
KK-T560M*/T561M*	6	22	420	390	400	400	250~330	400	325~	955	630	340	18.0/19.4
KK-T565M*/T566M*	6	16	420	390	400	400	250~330	400	325~	955	555	270	16.4/17.4
KK-T560L*/T561L*	5	18	370	350	400	360	200~280	450	270~	930	620	330	16.5/17.7
KK-T565L*/T566L*	5	16	370	350	400	360	200~280	450	270~	930	560	270	15.5/16.5
KK-T560S*/T561S*	5	18	330	310	400	360	200~280	450	270~	930	620	330	16.5/17.6
KK-T565S*/T566S*	5	16	330	310	400	360	200~280	450	270~	930	560	270	15.5/16.5

※背折たたみの状態の全高は約270mm低くなります。 ※座面高の寸法表示はパイプ上の高さです。  
 ※肘パット高さは20mmピッチ、5段階です。 ※1:フット長=フットサポート・シート間の距離

## 各部の名称

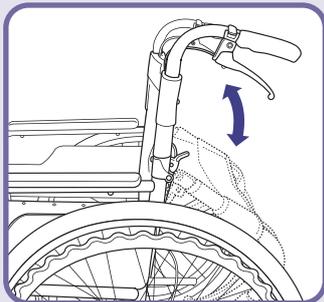


# 機能説明

## 〈バックサポート〉

### 折りたたみ

背もたれが折りたたみで、コンバクトになります。自動車等への積み込みが容易に行えます。

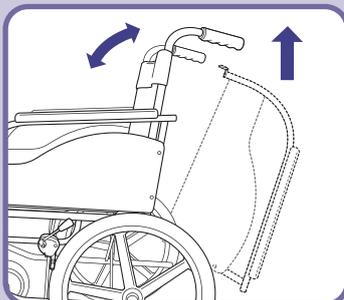


## 〈アームサポート〉

### 跳ね上げ&着脱

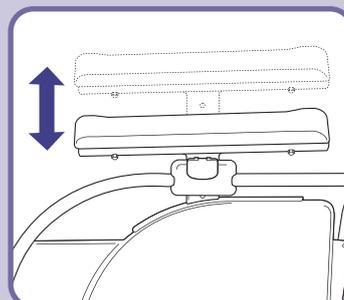
簡単なワンタッチ操作で肘掛けの跳ね上げができます。さらに肘掛けを取り外すこともできます。ベッド等への移乗時に大変便利です。介助軽減にも役立ちます。

着脱はKK-T560M\*/T561M\*、KK-T565M\*/T566M\*のみ



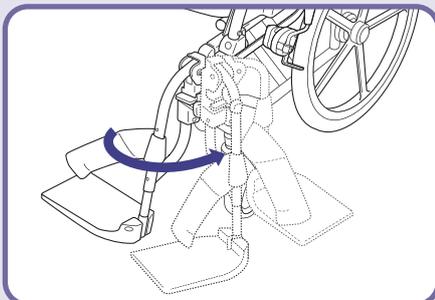
### 高さ調整

肘掛けの高さを簡単な操作で調整することができます。使用者の体格に合わせて、クッションの有無にも対応できます。



## 〈フット・レッグサポート〉

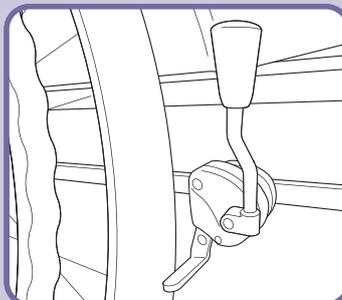
### スイングアウト



フット・レッグサポート部が開閉でき、着脱可能です。ベッド、便器等への接近が容易です。片手・片足操作にも適しています。樹脂製で操作も簡単です。

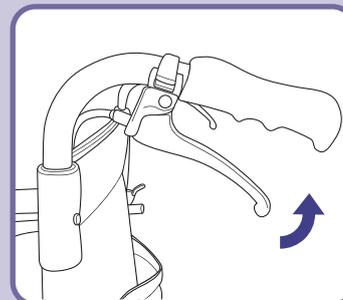
## 〈ブレーキ〉

### ミニタックル（跳ね上げ専用タイプ）



車いすが動かないようにします。肘掛けを跳ね上げての移乗の際に、レバーが邪魔にならない形状にしています。

### 制動用ブレーキ



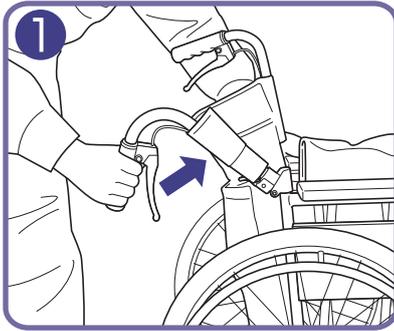
介助者が走行中（下り坂）の減速・停止に便利です。

# 車いすの拡げ方・折りたたみ方

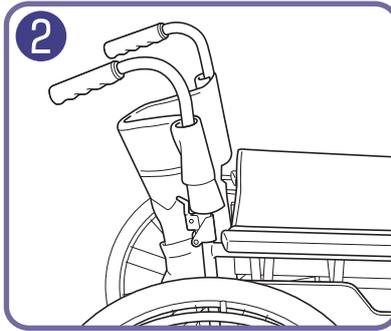
## 車いすの拡げ方

\*バックサポートの折りたたみを起こす時は、車いすを折りたたんだ状態で行ってください。  
(拡げた状態で行くと、背シートにバックサポートパイプが引っ張られ、ロック出来なくなります。  
また、背シートの破損につながるので行わないようにしてください。)

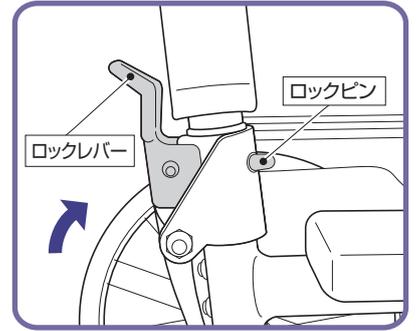
① グリップを持ち、矢印方向に、持ち上げる。



② バックサポートを両側起こす。



レバーを矢印方向に起こし  
ロックピンが出ていることを確認する。



**警告**

●バックサポート折りたたみのロックピンが、「カチッ」と音が鳴り、完全に出ていることを確認してください。(急にバックサポートが倒れ、転倒・転落事故の原因となります。)

していただく



**警告**

●バックサポート折りたたみのロックレバーに、かばんなどを引っ掛けないでください。  
(ロックが解除され、転倒・転落事故の原因となります。)

してはいけない

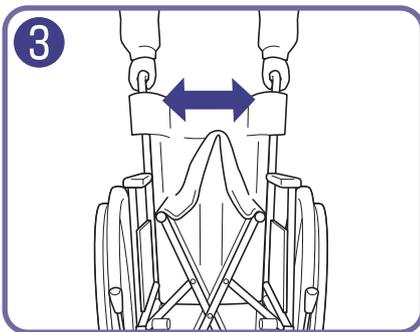


**注意**

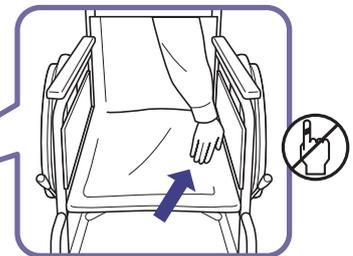
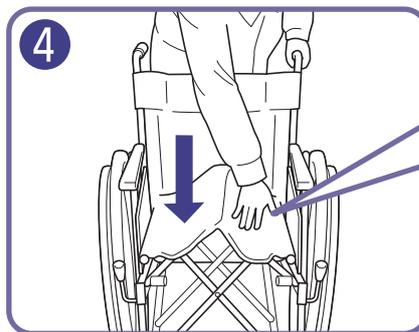
●バックサポートに重いものを引っ掛けないでください。  
(車いすが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。)

してはいけない

③ 車いすの後方に立ち、左右のグリップを持って両側に拡げます。



④ 片側のグリップを手で持ち、シートを手で下に押し下げると、シートが拡がります。



※手・指に注意



**注意**

●車いすを拡げる時に、シートパイプの横や下に、手や指を入れないでください。  
(パイプに手や指を挟んでケガをする原因となります。)

してはいけない



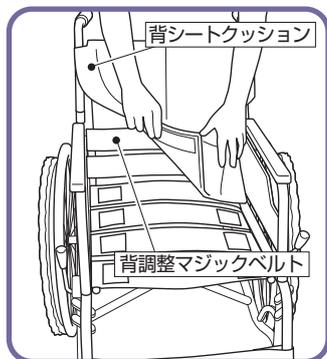
**注意**

●車いすを拡げた時、シートパイプが受けに収まっているか、確認してから座ってください。  
(パイプが曲がったりして、転倒・転落事故及び故障の原因になります。)

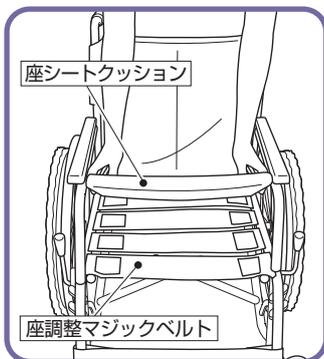
していただく

●クッションを装着していない場合は、車いすを上げた後にクッションの装着をしてください。

① 背シートクッションを背調整マジックベルトに固定する。



② 座シートクッションを、座調整マジックベルトに固定する。



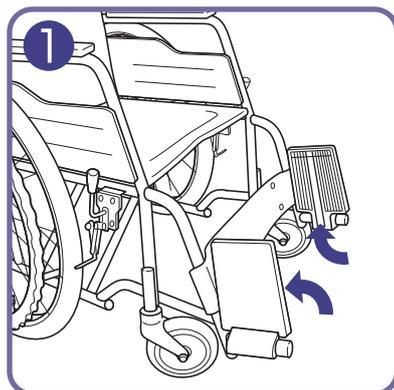
## ⚠ 注意

- 背シート・座シートクッションのマジックテープは確実に固定してください。  
(固定していないと、シートがずれて、転倒・転落事故の原因となります。)
- マジックテープに付いた、糸くずや汚れを取り除いてください。  
(粘着力が弱くなり、衝撃を受けた時外れ、転倒・転落事故の原因となります。)

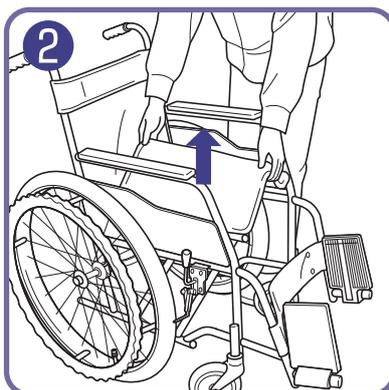
していただく

## 車いすの折りたたみ方

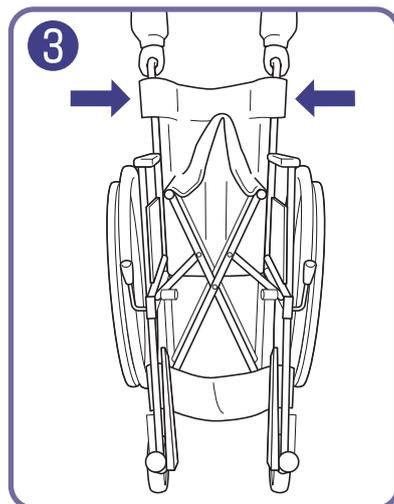
① フットサポートを矢印方向に回転させて上げる。



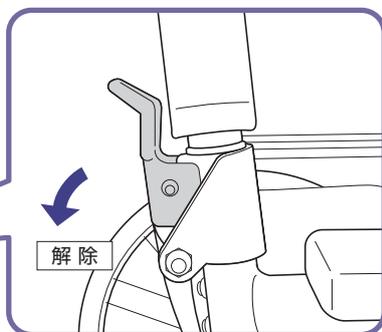
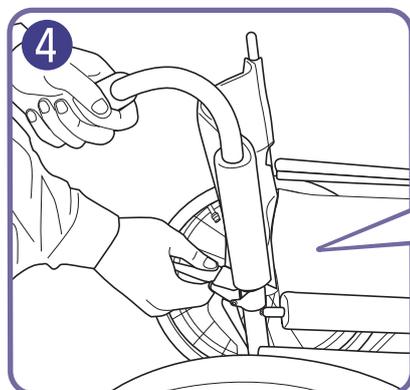
② シートの前方と後方の中央を同時に持ち上げる。



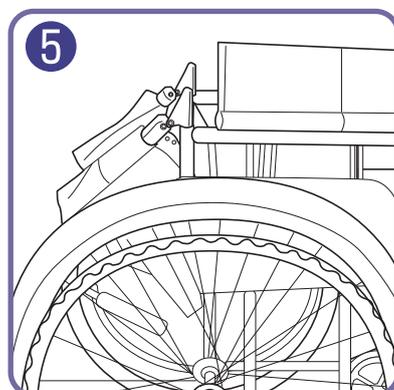
③ 左右のグリップを持ち、内側にたたむ。



④ グリップを片手で持ち、ロックレバーを後方に倒し、バックサポートを倒す。



⑤ バックサポートを両側後方に倒す。



## ⚠ 注意

- 車いすを折りたたむ際には、背シート・ポケットの中に物が入っていないことを確認してください。(ポケットの中の物を破損したり、車いすの故障の原因となります。)

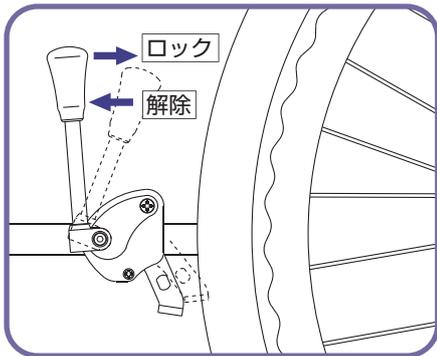
していただく

# 安全にお使いになるための使用方法

## ブレーキの使用方法

- 車いすをしっかりと止める時に使用してください。
- ブレーキレバーを後方に引くとロックします。
- ロックした方向と反対に引くと解除します。

### ミニタックル



### 警告

- タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。(P.16 ご使用の前に参照)  
(ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動いて、事故の原因となります。)

してはいけない

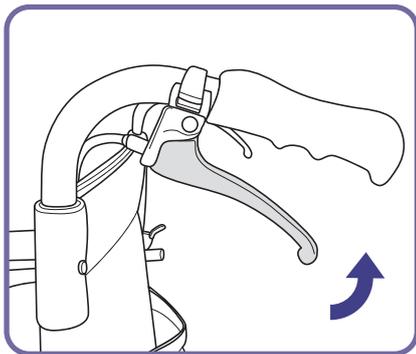
### 警告

- 車いすに乗る・降りる前や、ベッドへの移乗時には、必ずブレーキをロックしてください。  
(車いすが動き、転倒・転落事故の原因となります。)

していただく

### 制動用ブレーキ

- スピード調節や止める時に使用してください。
- レバーを握るとブレーキがかかります。
- レバーを離すと解除します。

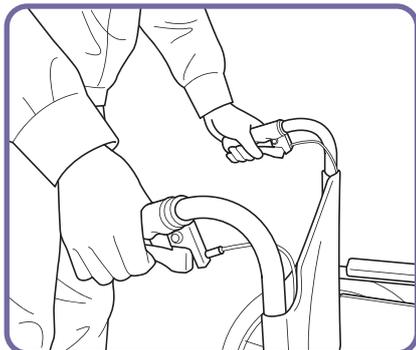


### 注意

- 急ブレーキをかけないでください。  
(車いすに乗っている方が前方へ転倒・転落する恐れがあります。)

してはいけない

介助者の方が走行中や下り坂での減速及び停止にご使用ください。



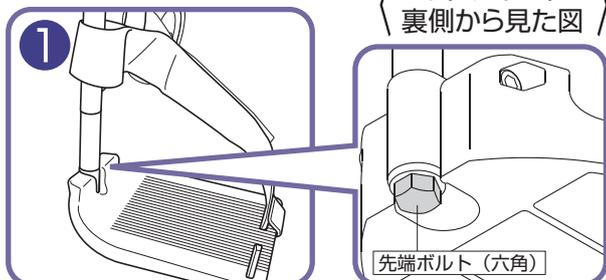
### 注意

- 介助者の方は、制動用ブレーキレバーを両側同時にかけてください。  
(バランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります。)

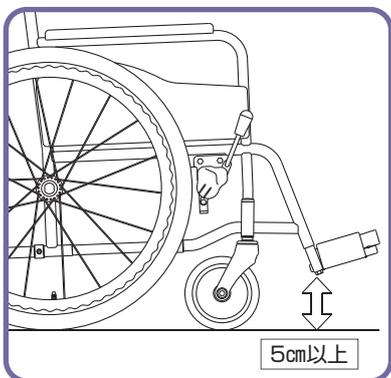
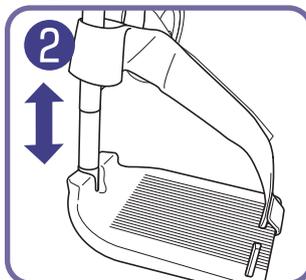
していただく

## フットサポートの高さ調整

- ① フットサポートを少し上げ、付属品のスパナで先端ボルトを少し動くところまで緩める。



- ② 高さを調整し、先端ボルトを締める。



5cm以上

### 警告

- フットサポートが固定されているか、確認してから使用してください。(フットサポートが脱落し事故の原因になります。)

していただく

※適正トルク  
12.5Nm

### 警告

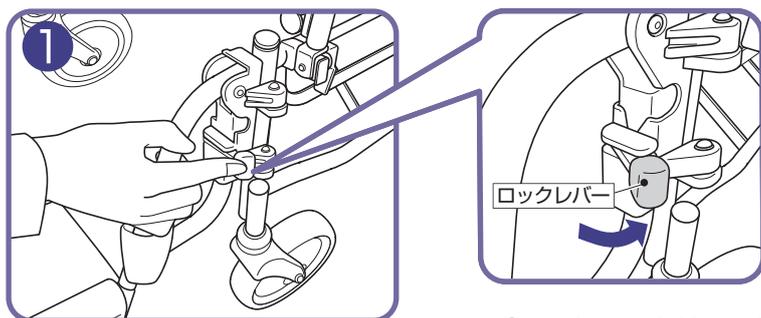
- フットサポートの高さは地面より5cm以上でご利用ください。(路面の凹凸や障害物にフットサポートが引っかかり急に車いすが止まり、転倒・転落事故の原因になります。)

していただく

## フット・レッグサポートスイングアウト

- フット・レッグサポートをスイングアウト(外開き)したり、取り外すことによりトイレ・ベッドの乗り移りがしやすくなります。また、片足こぎ操作する時には、取り外すことにより足元が広がります。

- ① ロックレバーを押し、ロックを解除します。

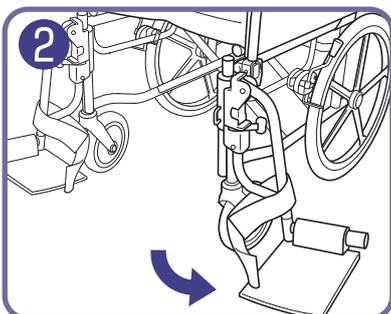


### 警告

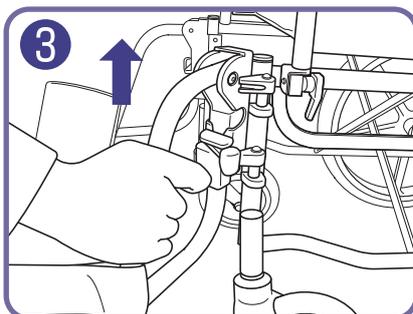
- スイングアウトを戻したときは、ロックが確実にされているか確認してください。(足を乗せたとき、外れて足をケガする原因となります。)

していただく

- ② フット・レッグサポートを開くように外側に回転させます。



- ③ フット・レッグサポートを取り外すときは、外側に回転した状態から上に持ち上げてください。



### 注意

- スイングアウトや取り外し・取り付け操作時に、手をはさまないように注意してください。

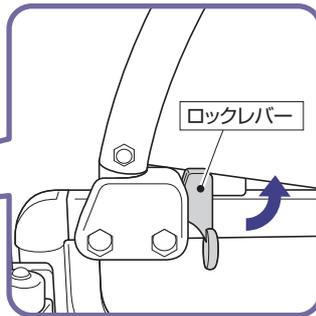
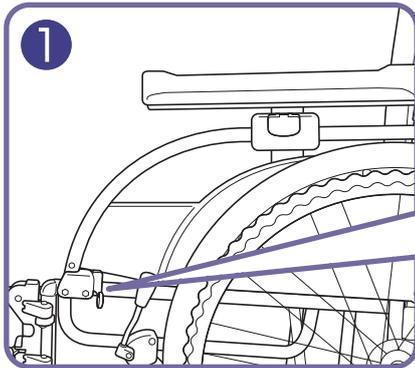
していただく

## アームサポート跳ね上げ&着脱

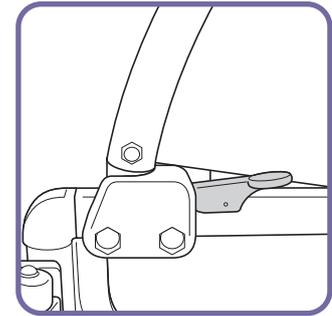
### アームサポートの跳ね上げ

●両側のアームサポートが後方に跳ね上がりますので、横からの乗り移りがしやすくなります。

① ロックレバーを矢印方向に起こす。

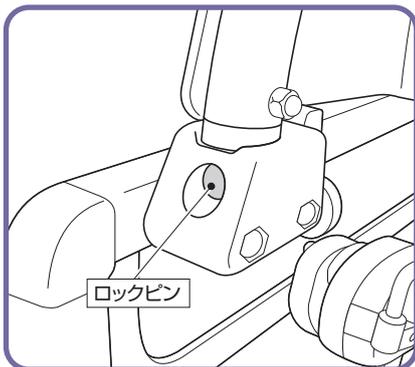
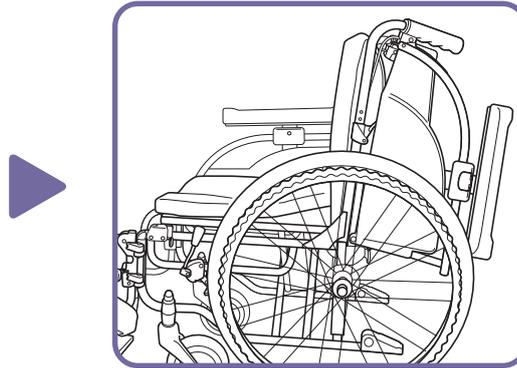
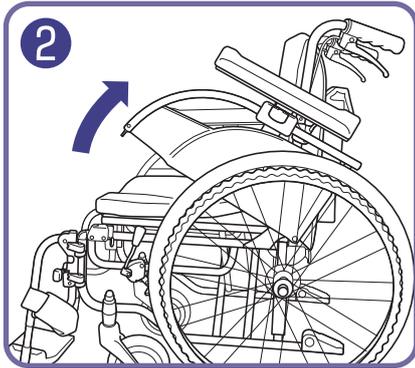


(解除した状態)



② アームサポートを後方に上げる。

(跳ね上げた状態)



### 警告

●アームサポート跳ね上げを戻したときは、ロックレバーのピンが完全にロックされていることを確認してください。

(転倒・転落事故の原因となります。)

していただく

### 注意

●アームサポートを持って、車いすを持ち上げないでください。  
(ケガ、転倒・転落事故の原因となります。)

してはいけない

### 注意

●アームサポートを跳ね上げた状態で、アームサポートに力を加えないでください。  
(破損の原因となります。)

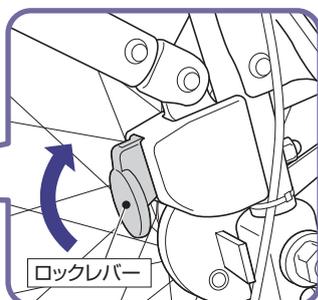
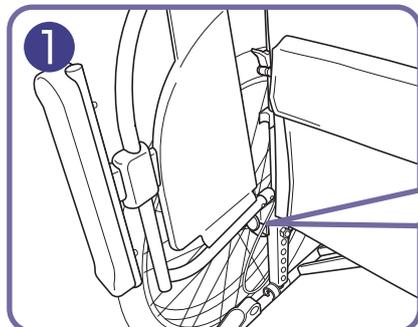
してはいけない

## アームサポートの着脱

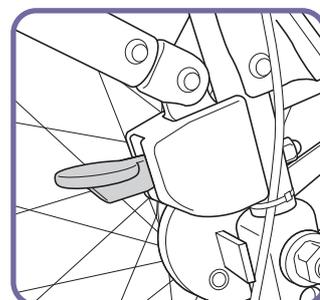
KK-T560M\*/T561M\*,KK-T565M\*/T566M\*のみ

●アームサポートの跳ね上げに加えて、着脱することもできます。P.10のように、アームサポートを後方に跳ね上げてください。

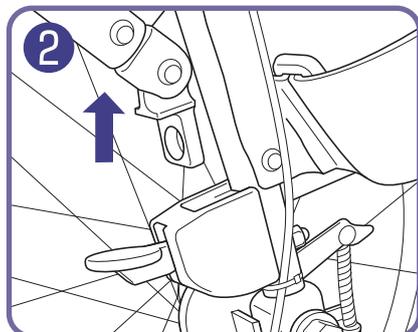
① ロックレバーを矢印方向に起こす。



(起こした状態)

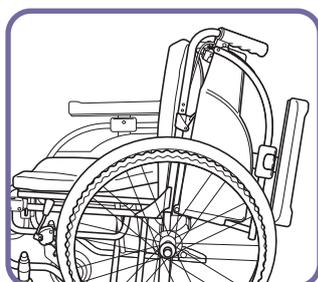


② 上に持ち上げて外す。

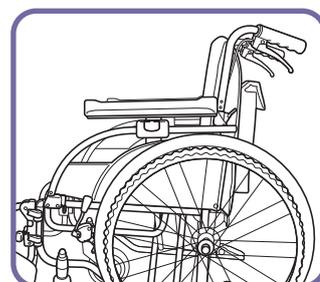


●取り付ける場合

① 後方のロックを確認してください。



② アームサポートをおろし、ロックを確認してください。



**警告**

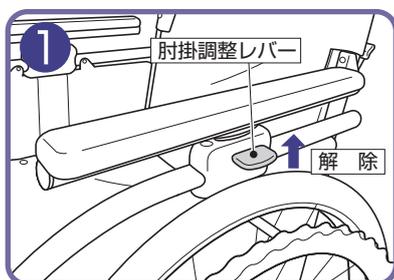
●アームサポートを取り付けたときは、完全にロックしていることを確認してください。  
(転倒・転落事故の原因となります。)

していただく

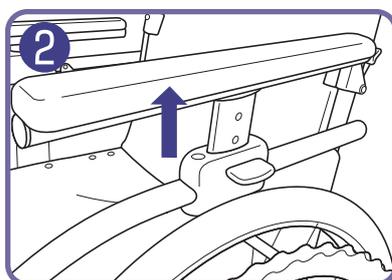
## アームサポートの調整

●肘掛(パット)の高さを5段階に調整することができます。

① 肘掛調整レバーを解除位置にする。



② 肘掛の高さを適当な位置にする。

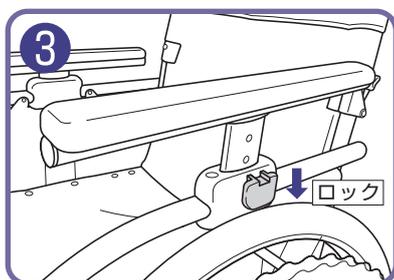


**警告**

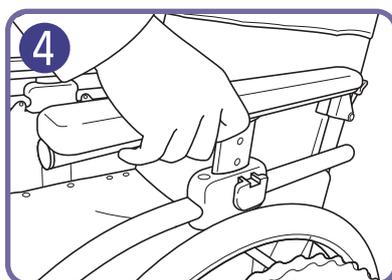
●ロックが確実にされていることを確認してください。

していただく

③ 肘掛調整レバーをロック位置にする。



④ 肘掛を上下に動かしロックされていることを確認してください。



**注意**

●肘掛(パット)の下に手などを入れないようにしてください。

していただく

# 車いすの使用方法

## 乗り方・降り方



**警告**

●車いすに乗る・降りる前や、ベッドへの移乗時には、必ずブレーキをロックしてください。  
(車いすが動き、転倒・転落事故の原因となります。)

していただく



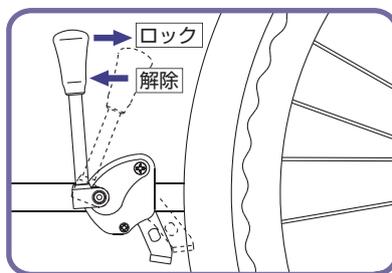
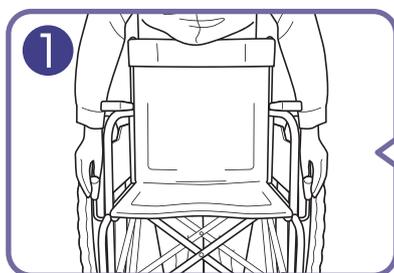
**注意**

●車いすの乗り降りは、路面の平坦な場所で行ってください。  
(車いすが動いたりしてバランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります。)

していただく

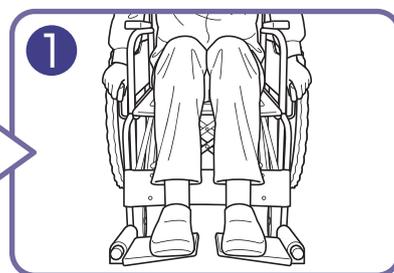
### 乗る時

①ブレーキを両側ロックする。

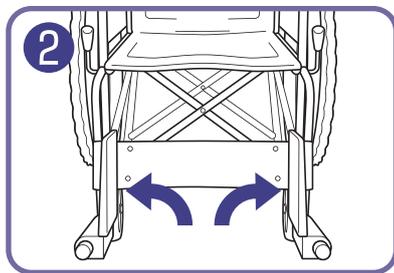


### 降りる時

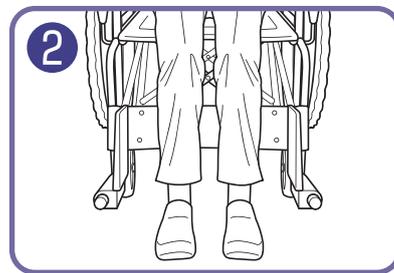
①ブレーキを両側ロックする。



②フットサポートを両側上げる。



②フットサポートを上げ、足を下ろす。



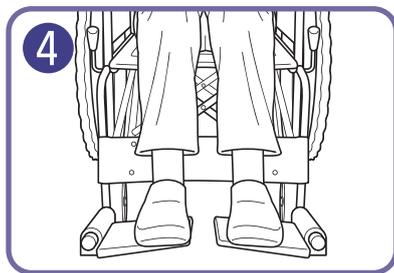
③両手で、アームサポートを持ち  
ゆっくり座り込む。



③両手で、アームサポートを持ち  
ゆっくり立ち上がる。



④フットサポートに足を乗せる。



**警告**

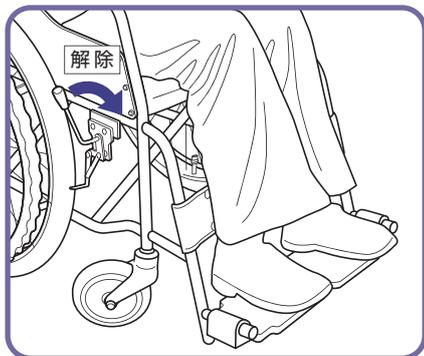
●フットサポートの上に乗って、乗り込んだり、  
降りるとき上に立ち上がらないでください。  
(車いすがバランスを崩し、転倒・転落事故の原因  
となります。)

してはいけない

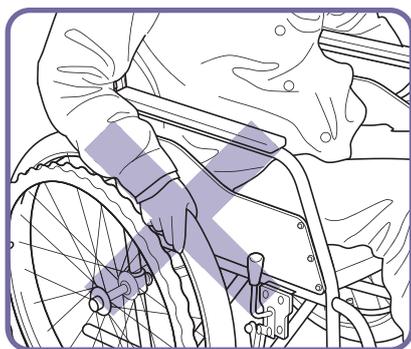
## 動かし方

### (自走用車いすの場合)

ブレーキロックを解除する。



ハンドリムを握り、車輪を回転させ移動させる。



**注意**

- タイヤを持って車いすを操作しないでください。  
(ブレーキに手があたり、ケガをする原因となります。)

してはいけない



**注意**

- スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。  
(摩擦で、手にケガをする恐れがあります。)

してはいけない



**注意**

- 走行中、身体を乗り出さないでください。  
(バランスが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。)

してはいけない



**注意**

- 車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。  
(手や指を挟んで、ケガをする原因となります。)

してはいけない

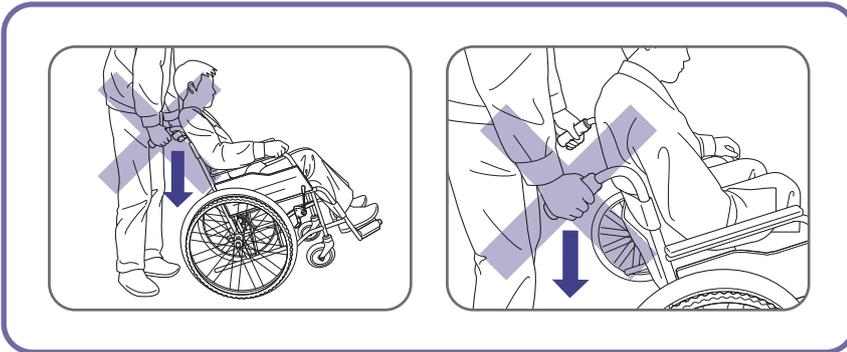
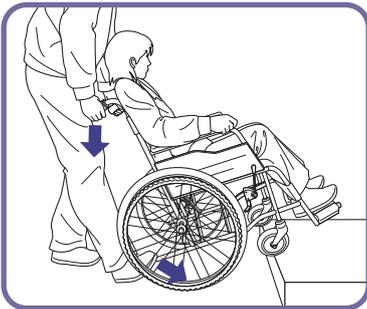
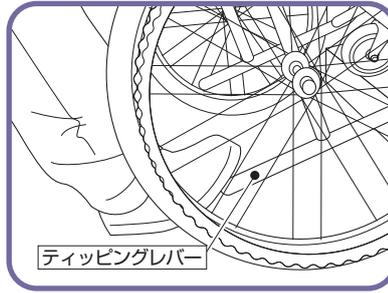
次のような使用場所や環境では、危険が伴う場合がありますので、必ず介助者の方が付き添ってください。

- ・坂道の登り下り
- ・踏切の横断
- ・側溝の格子蓋の横断
- ・悪路
- ・電車への乗車、下車
- ・段差乗り越え
- ・路面が片側に傾斜しているところの走行

## 介助の仕方

介助者援助をお願いしてください。

介助者の方は、段差を乗り越える場合には、ティッピングレバー(プレート)を踏んでキャスト(前輪)を上げ、段差に乗せてから、乗り越えてください。



### ⚠ 注意

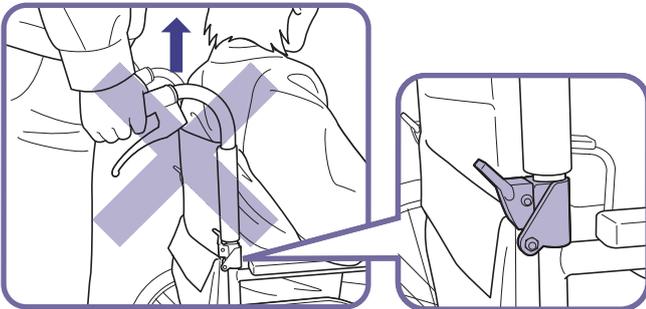
- バックサポートパイプのみで、キャスト(前輪)を上げないでください。  
(バックサポートパイプが曲がったり、折れたりして、転倒・転落事故の原因となります。)

してはいけない

### ⚠ 注意

- スピードをつけて、段差を乗り越えようとししないでください。  
(使用者が車いすから転倒・転落して事故の原因となります。)

してはいけない



### ⚠ 注意

- バックサポートが折りたたみの場合、使用者が車いすに乗っている状態でグリップを持って吊り上げないでください。  
(パイプが外れたりして、転倒・転落事故の原因となります。)

してはいけない

車いすを持ち上げようとして次のような箇所は、持たないでください。

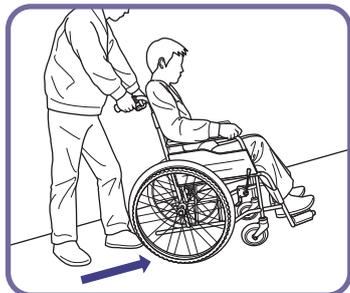
- ・バックサポートが折りたたみ式のバックサポートパイプ部
- ・アームサポートが、跳ね上げ&着脱のアームサポート部
- ・フット・レッグサポートが、スイングアウト式のフット・レッグサポート部

## 外出時の注意

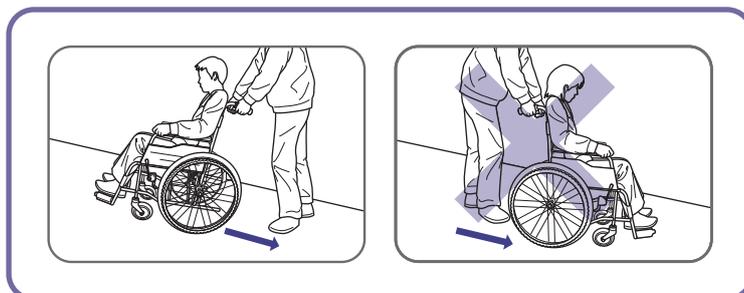
介助者援助をお願いしてください。

坂道の登り下りでご使用される場合は、必ず介助者の方に支えていただいで行ってください。

登り坂



下り坂

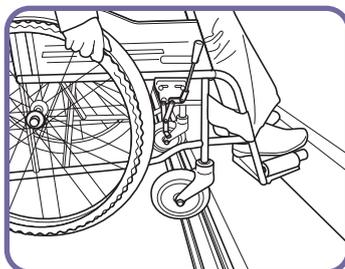
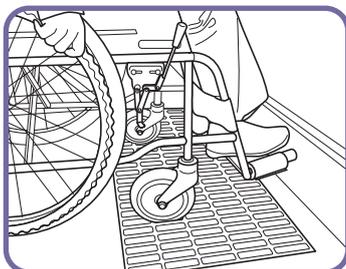


### ⚠ 注意

- 坂道を下るとき介助者の方は、下り坂の下側に立ち、ゆっくり確認しながら後ろ向きに走行してください。（前向きで下ると、乗っている人がずり落ちたり、前のめりとなり、転倒・転落事故の原因となります。）

していただく

介助者援助をお願いしてください。



### ⚠ 警告

- 側溝の格子蓋や踏切などでご使用される場合は、必ず介助者の方に支えていただいで行ってください。（車輪が溝にはまって転倒・転落事故の原因となります。）

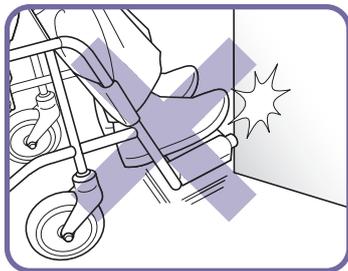
していただく

### ⚠ 注意

- 側溝の格子蓋、踏切のレール溝にキャストが落ち込まないように注意してください。（車いすが急に止まり使用者の体が前方に傾き、転倒・転落事故の原因となります。）

していただく

【介助者の方へ】



**注意**

●移動中、つま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。

していただく

**注意**

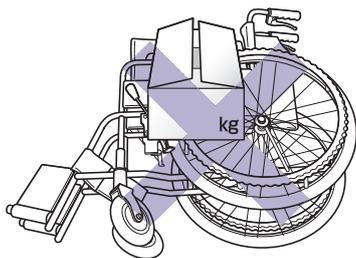
●フットサポートに、足が乗っているか確認して走行してください。

していただく

**注意**

●車いすを横向きに倒して、上に物を置かないでください。  
(重みで車輪フレームが曲がったりして、故障の原因になります。)

してはいけない



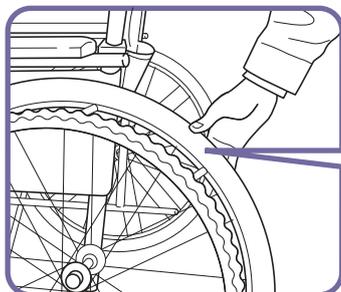
■階段などで、使用者が乗ったままの状態、介助者に吊り上げてもらう場合

ベースパイプ・バックサポートパイプの固定されている箇所を持って、4～5人で支えてもらってください。

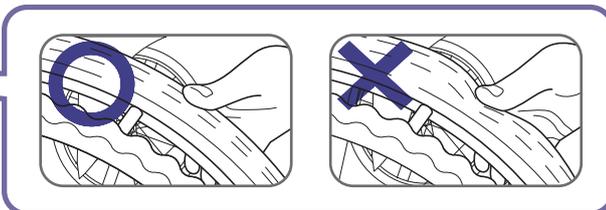
ご使用前に

■ご使用前に、安全にご使用していただく為、次の確認をお願いします。

- ・タイヤの摩耗・亀裂はないか。
- ・ブレーキに異常はないか。
- ・タイヤの空気圧は適正か。
- ・ブレーキをロックした時、駆動輪・主輪が回転しないか。



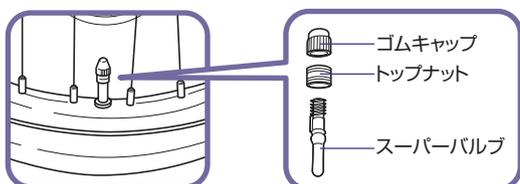
タイヤを親指で押し、容易に凹む場合は、自転車用空気入れで空気を補充してください。



適正空気圧  
350kPa  
(3.5kgf/cm<sup>2</sup>)

タイヤの空気バルブの  
トップナットが緩んで  
いないか確認してください。

タイヤの空気がすぐに抜けるときは、  
スーパーバルブを交換してください。



**警告**

●タイヤの空気圧が少ない状態で、  
使用しないでください。  
(ブレーキのロックが出来なくなり、車  
いすが動いたりして、事故の原因と  
なります。また、タイヤのパンクの原  
因となります。)

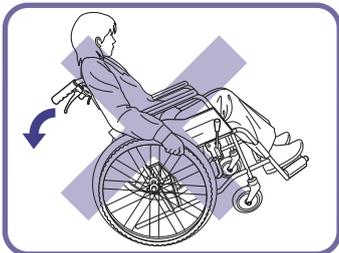
してはいけない



## 警告

- 車いすのシートの上で立ち上がらないでください。  
(転倒・転落事故の原因となります。)

してはいけない



## 注意

- バックしながら急停止しないでください。  
(転倒・転落事故の原因となります。)

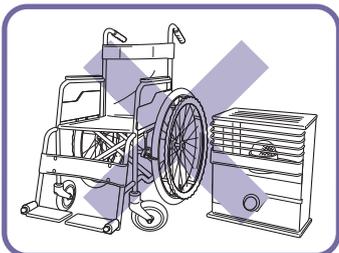
してはいけない



## 注意

- 凹凸のある路面では、前かがみ姿勢で使用しないでください。  
(バランスを崩し、前に転倒・転落して事故の原因となります。)

してはいけない



## 注意

- 火気の近くに置かないでください。  
(タイヤがパンクしたり、シートが燃え火災の原因となります。)

してはいけない

# もしこんなトラブルが発生したときは

車いすをご使用されていて「故障かな」と思うトラブルが発生したら、修理を依頼する前に下記項目を確認してください。

トラブル	確認点	対処
タイヤの空気が少ない	・タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
空気を入れてもすぐに抜ける	・タイヤの空気入れ部のネジは、しっかり締まっていますか	しっかり締め直してください
	・スーパーバルブが劣化していませんか	スーパーバルブを交換してください
走行操作が重い	・タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
	・駆動輪・キャストに髪の毛、ビニール等が巻きついていませんか	取り除いてください
真っ直ぐ走らない	・キャスト(前輪)が片べりしていませんか	取扱店にご連絡してください
バックサポート折りたたみのロックピンが入らない	・車いすを払げて、バックサポートを折りたたみしていませんか	車いすを折りたたんで、行ってください
制動用ブレーキが効かない	・ワイヤーが、ねじれていませんか	ワイヤーのねじれを調整してください
	・ワイヤーの遊びが多くありませんか	取扱店にご連絡してください
ブレーキが効かない	・タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
	・タイヤは、摩耗していませんか	取扱店にご連絡してください

## 車いすのお手入れの方法

■清掃は、水につけたタオルを強くしぼり、泥やホコリを拭き取った後に乾いた布で仕上げ拭きをしてください。

揮発性剤(シンナー・ベンジン・アルコール類)では、清掃しないでください。

変色したり、劣化の原因となります。

ホースなどで、直接水をかけないでください。車輪及びフレーム内部・ブレーキ部に水滴が残り、錆の原因となります。

■タイヤの空気圧は、最適空気圧:350kPaを適正に保ってください。

空気圧が低いときは、補充してください。

■タイヤには、ひび割れを防ぐ為に老化防止剤が配合されていますので、次のような環境及び薬剤はさけてください。タイヤの劣化を促進させ、ひび割れの発生原因となります。

- オゾン(O<sub>3</sub>)
- 光線(日光)、熱・伸張等の機械的作用。
- 銅・マンガンのような金属の塩、石鹼などの容易に酸化される物質。
- シリコン系ワックス(自動車タイヤ用ツヤ出し剤、潤滑剤(錆落とし含む))。

■車いすに異常がある場合は、取扱店で、点検・修理をおこなってください。

そのままの状態で使用されますと、使用中に破損し、事故の原因となります。

- タイヤの劣化・ひび割れ・空気漏れ
- 各部固定部品の変形
- ボルト・ナット・ネジの緩み
- フレームのひび割れ・曲がり・がたつき
- 駆動輪・キャストの変形
- 制動用ブレーキ・駐車用ブレーキの効き具合

## 保管場所

次のようなところでは、保管しないでください。故障の原因となります。

- 雨に濡れるようなところ
- 直射日光が当たるようなところ
- 湿気の多いところ
- 高温室になるところ
- 炎天下なところ

# 車いす点検シート

安全にご使用していただくために、ご自身・お買い求めの販売店（有料）で定期的に点検をしていただくようお願いします。

（長期間ご使用にならなかった場合は、ご使用前に点検をしてください）

点検の結果、異常があった場合はご使用にならず、調整・部品交換をしてからご使用ください。

点検項目		年月日				
		点検者				
キャスタ(前輪)	亀裂・キズの有無					
	キャスタの摩耗					
	スムーズな回転					
フォーク	損傷の有無					
	スムーズな旋回					
後輪	タイヤの空気圧					
	タイヤの摩耗					
	スムーズな回転					
	ホイールのキズの有無					
	スポークの緩み（自走のみ）					
フレーム	各部キズの有無					
	ボルト・ナットの緩み					
	スムーズな折たたみ					
ブレーキ	ブレーキの効き					
シート	シートの破れ・損傷					
	シート固定ネジの緩み					
フットサポート	固定ボルトの緩み					
	プレートの破損					
アームサポート	固定ボルトの緩み					
	パッドの破損					
その他						

# アフターサービスについて

## 1. 保証書

保証書は、この取扱説明書の裏表紙についておりますので、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

## 2. 修理を依頼される時

取扱説明書の「もし、こんなトラブルが発生したときは」（18ページ参照）に従って調べてください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（下記参照）までご連絡ください。

### ■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号（ラベルの貼付位置は表紙の裏ページ参照）
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 施設名、お名前、ご住所および電話番号

### ■消耗部品について

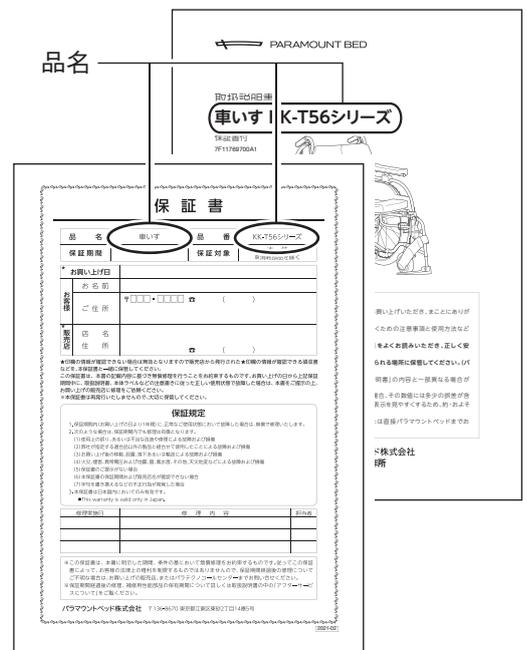
タイヤ・シート・ブレーキ・制動用ブレーキ用ワイヤー・ブレーキゴムなどは消耗部品です。

### ■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ■保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。



## 3. 部品の最低保有年数は

弊社ではこの車いすの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

## 4. アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎ 0120-54-8639

受付時間：平日8:00～18:00/土・日・祝日9:00～17:00（年始は休業いたします）

【パラテクノ株式会社について】 弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

### 〈パラマウントベッド株式会社〉

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211(代)
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園3丁目23番1	☎(048)878-0100(代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)



# 保証書

品名	車いす	品番	KK-T56シリーズ
保証期間	1年間	保証対象	本体 ※消耗部品を除く

★ お買い上げ日		
お客様	お名前	
	ご住所	〒□□□□ - □□□□ ☎ ( )
★ 販売店	店名	
	住所	☎ ( )

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので販売店から発行された★印欄の情報が確認できる領収書などを、本保証書と一緒に保管してください。

この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

## 保証規定

- 保証期間内(お買い上げの日より1年間)に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
  - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
  - 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
  - お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
  - 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
  - 保証書のご提示がない場合
  - 本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
  - 字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
  - This warranty is valid only in Japan.

修理実施日	修理内容	担当者

※この保証書は、本書に明示した期間、条件の基において無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

パラマウントベッド株式会社 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号